



種放祭  
かんたい  
待

十八禁



皆様ごきげんよう  
最上型重巡の二番艦  
三隈です

この鎮守府で  
提督の秘書官を  
やらせて  
頂いてるの

まずは提督を  
起こして  
朝のご挨拶を  
するのだけれど

秘書官の朝は  
とっっても早くて  
起きるのも大変!

提督、

私室の方には  
いらつしやら  
なかったけど……

もう  
執務室に  
かしら

執務室

提督?

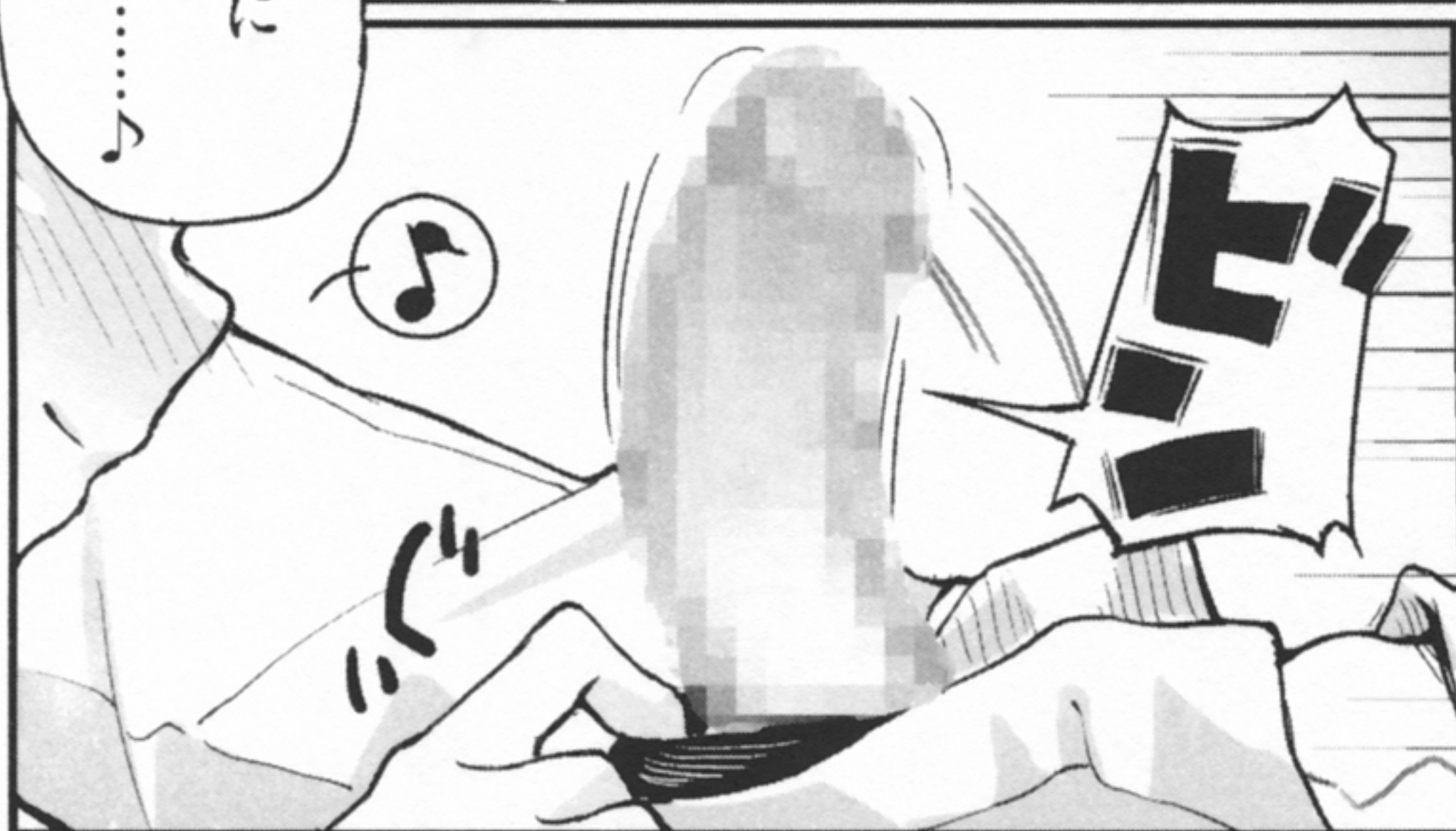
まあ!

執務室でお休みに  
なられたのね……

昨夜はそんなに  
お仕事あつたに  
かしら……?

ほっ きん









これは秘書官の  
仕事では  
ないのだけれど

勿論、



なんて  
言ったらいい  
んでしよう……



この  
お味は……

三隈の……  
日課？









提督ったら

て、

提督

駄目

駄目です

今は執務中  
ですよお

執務の合間に  
すぐお盛りになって  
迫ってくるのよ?

それも何度も!

その執務に  
集中するために  
な? な?

こら?

私も  
否やを唱える  
のだけれど



何かと  
理由を付けて  
聞き入れて  
もらえなくて

三階の  
でキミ  
る

舌だして  
カク

クク  
クク

くた

は  
クク

クク  
クク





手や口になんて  
まだいい方

提督？

時には  
おでこ—



きゃあ！



さらには  
お鼻から  
啜らされる  
なんて時も……

んほ  
は



それに 提督ったら  
すごい量を  
お射精しになるのっ

まっ

ブル  
ブル

ブル  
ブル

三限のお洋服が  
台無しにされる  
ことなんて  
日常茶飯事

ぐすん

ブル  
ブル  
ブル

ブル  
ブル

しっかり  
着替は  
用意さ  
すのだ  
だけだ  
……



飲み込んだ  
後には、

口から提督の  
精が香ってしま  
うんじゃないか  
って心配になる  
くらい

モ

はっ

あ



そんな生活を  
送っていた所為で

三限の感覚も  
変になってきて  
しまつて—

三限は最近  
サンドイッチ  
続きだな

ふあい？

毎日同じだと  
飽きるだろ  
俺がトッピングを  
追加してやろう

特に飽きは  
していません  
けど……

一体  
どんな—



って

女

きゃあ!?

提督っ!?

何を  
なさつて—

いくら三限でも  
怒りますよっ!?

大丈夫!

食べる  
食える!

いつも  
美味しそうに  
飲んでるし



はい  
完成♪

提督ご自慢の  
トッピングを  
追加した  
サンドイッチ……







美味し、くはないけれど……

それに  
お味の方も——

あ、あ、あ

青臭さと  
しよっぱさが  
混じって……



とても  
食べられる物では  
ないはずなのに

すんなり  
喉を通って  
しまったの！

わよね？



ん、ん

ん、ん

ん、ん

ん、ん



なんだから  
癖になつて  
しまひそう

三隈  
三隈



開口、  
見せて♪





今では  
提督とランチを  
ご一緒する時は  
毎回のよう……

カレーに  
合うの……

カレーに  
合うの……

三限  
すっかり毒されて  
しまいました……



そうなって  
からは

私が自分から  
はしたない事を  
言い出してしま  
う時もあるの

提督

気持ちいい？

うむ

苦しゅうない  
ってな





提督？

ん？

三隈、  
ボディソープを  
切らして  
しまっていて

“提督の”を  
使わせて頂いても  
いいかしら？

ん、いいぞ

では

こちらを向いて  
お立ちになって♪



立つ？

なんで？

って

お前  
まさか……



ああ……

“提督の”

ほんのり  
温かくて

すっごい  
どろどろです♪

ぬりゅ

ぬりゅ







……  
三限ったら  
気付きません  
でした

ん……  
段々  
泡立って  
きましたわ♪



提督が、

シヤンプー  
の方まで

用意して  
下さって  
いたなんて♪





でも、  
髪の毛一本一本まで

提督に侵される  
って想像したら

落とすのが  
大変！  
匂いが  
染み付きそう！

と  
思いは  
したのよ？



最近では  
念入りに  
ブラシまで……

昂ぶりを  
抑えきれなく  
なってしまうって

あ……  
我ながら  
ではしたない  
ですわ……





勿論  
身体を重ねる  
ことも多いの

もう――

提督ったら、  
今は外にって  
お願いしたのに……

出撃中に  
漏れてきたら  
どうしてくださる  
のかしら

よし俺が  
その不安を  
取り除いて  
やろう

まあ!  
どうやって?



もう  
あまり時間が  
ないけれど





大丈夫  
大丈夫

さっきの  
残りがすぐ  
出そうだから

ほら 三隈

スカート上げてっ

でも

やっぱり提督は  
一癖も二癖も  
あるお方で……

え？

？

？

残り？

提督？ 何を——

出す？



つふう

チュウ

これで  
膾から漏れてくる  
心配はしなくて  
済むなっ  
もう  
どろどろだし

ちが  
あ



下着の感触は  
いいと言えるもの  
ではなかったけれど

提督に  
包まれている  
ような高揚感が  
癖になって  
しまつて――

今日は  
こちらにも

提督

三隈  
今日スポーツブラ  
にしてみたの

これなら

その

漏れにくい  
かと思う  
のだけど

提督を  
くたさらない  
かしら

三隈

どこへ行って  
しまうん  
でしょう……

はい、見たい  
です、三隈さん  
の……





提督を直に  
感じられるから

やっぱり  
私は

あ、  
あんなことを  
求めてしまう  
のだけれどつ

普通に  
愛し合うのが  
一番好きなの



本当よ?









◆あとかき◆

初めましての方もそうでない方もこんにちは、彩社長です。  
今回はこの本をお手にとって頂き、ありがとうございました。

結構前から精液であれこれするネタを描きたいなーと思っていたんですが、  
ちょっと感銘を受ける作品に出会ったりしたのと、  
個人的に三隈がなんかしっくりきたので、こんな形の本になりました。

なんだか精液と戯れてばかりで、どこが抜きどころなのか  
よくわからない本になったような気がしますが……。

読んだ皆様が少しでも楽しめたのなら幸いです。  
僕は楽しかったので(

風呂とか洗濯とか鍋とか、  
もうちょっと派手なネタも入れたかったような気もしますが、  
これであと「一度は出したいと思ってるネタ」はスカトロだけだなぁ(小声

それでは、  
こんなところまで読んで頂き、本当にありがとうございました。  
また次回、どこかのイベントの何かの本でお会いしましょう。

彩社長

スペシャルサンクス:ケンジくん



---

誌名: 欲待種放祭り  
発行日: 2013/12/30  
発行: 極彩色  
代表: 彩社長  
印刷: くりえい社 様

本書の無断転載、アップロード等は禁止です

---





種<sup>しゆ</sup>放<sup>ほ</sup>祭<sup>い</sup> 歡<sup>くわん</sup>待<sup>たい</sup>

